

学力向上に効果のある取組事例

豊後高田市立呉崎小学校

①基礎的・基本的な知識及び技能の習得

取組の具体①

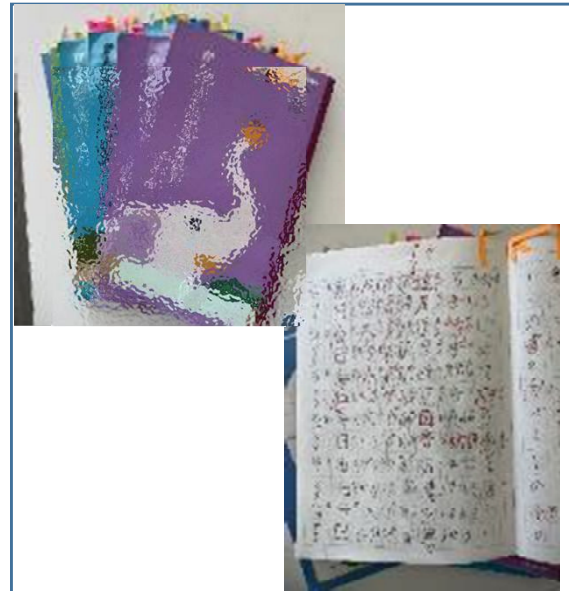
◆本校は、全校34名の小規模校であり、ひとり一人の基礎・基本の力を伸ばすことが、全体的な底上げにつながると考えている。そこで重点目標を「交流を通して、わかる・できる授業の充実」として

○「単元テスト(国語・算数)7割未満の児童を10%以下にする」達成指標の元、ひとり一人の単元テストの達成状況を把握し、個に応じた指導を理解するまで徹底して行った。

○算数では、授業の終わりに必ず、適用問題に取り組みさせ定着状況を確認してきた。ICTのドリルも活用した。

○国語では、漢字の読み書きのミニテストやまとめのテストで定着状況を確認してきた。

○間違ったところは付箋をつけて、できるようになるまで、繰り返し取り組ませた。



漢字ノートは付箋をつけて間違えたところをやり直ししている。

取組の具体②

○職員室前に「放課後の学習コーナー」を設け、子どもたちの自主的な放課後の学習をサポートしている。学習の困りができた児童は、職員室にいる教職員を呼び(職員室にいる全ての教職員が対応)、困りが解決できるまで指導をしている。全ての児童を全ての教職員で育てていくことを大切にしている。



放課後学習コーナーの様子